

第2学年 体育科学習指導案

日 時 平成22年7月1日(木) 5校時

場 所 校庭

児 童 2年2組(男子9名 女子15名 計24名)

指導者 大内 智子

1. 単元名 「ぐんぐん鉄ぼうで にん者しゅぎょう！」

(B 器械・器具を使つての運動遊び ウ 鉄棒を使つた運動遊び)

2. 目 標

<関心・意欲・態度>

- ・いろいろな鉄棒遊びに挑戦しようとする。
- ・約束やきまりを守り、安全に気を配りながら友だちと協力して取り組もうとする。

<思考・判断>

- ・いろいろな鉄棒遊びを通して、運動の仕方を知ろうとしている。
- ・友だちと見合ったり、声をかけ合ったりして学習できる。

<技能>

- ・鉄棒に慣れ、ぶら下がる、振る、上がる、回る、下りることができる。

3. 単元について

(1) 教材について

「鉄棒を使つた運動遊び」は低学年で取り扱われる内容で、逆さまになつたり鉄棒を軸にぐるぐる回つたりする、普段の生活では味わえない特有のおもしろさがある。また、鉄棒につかまったりぶら下がったりしながら自分で技を發明したり技をつなぎ合わせて連続技を作るなど、表現するおもしろさもある運動である。それを踏まえて、この単元では、鉄棒で体を支える、回転する、逆さになるなどの基本的な動きを友だちと楽しい遊びを通して体験させ、鉄棒遊びの楽しみ方をさらに広げたり友だちとの教え合いで活動を深めたりしていく。その中でできる喜びを味わわせ、さらに難しい技に挑戦しようという態度を育てていく。

(2) 児童の実態について

運動好きな子が多く、いろいろな運動に興味をもって取り組むことができる。

「鉄棒を使つた遊び」に関わる事前調査では、鉄棒遊びが好きな児童は14名、嫌いな児童は1名、どちらでもない児童が9名。好きな理由は、「技ができるようになると楽しいから、ぶらさがることがすきだから」などで、嫌いな理由は、「落ちるのがこわいから、回ること・ふとんほしがこわいから」などであり、頭を前に倒すことをこわいと感じている児童が多い。

単元前のできる技の調査では、「跳び上がり」21名、「つばめ」20名、「ふとんほし」15名、「前回り下り」16名、「逆上がり」 名。固定遊具を使つた遊びで、現在雲梯を通してできる児童は16名である。4名は半分くらいまで進むことができ、残り4名は1つ目にぶらさがることができる。

(3) 指導について

本単元では、鉄棒遊びが十分でない児童の実態を踏まえて固定遊具施設を使い、タイヤ跳び・雲梯でさるわたり・ジャングルジムとんとん逆上がり・のぼり棒でくるりんぱなどの遊びを準備運動として取り入れていき、「鉄棒を使つた遊び」に関わる基本的な動きを養っていきたい。基になる運動では「鉄棒を使つた遊び」の中でどの児童もできる技がより上達し、もっと上手になりたいと思うようなゲームやリレーを取り入れ、友だちと楽しく運動する経験をさせながら鉄棒への苦手意識を無くしていきたい。また、基本学習や高める学習では「忍法レベルアップタイム」を通して友だちとのかかわり合いや協力し合う楽しさ、技を身に付けたときの喜びを体験させ、さらに鉄棒遊びへ向かう意欲を持たせたい。

<p>【研究とのかかわり】</p> <p>研究内容</p> <p>① 教材及び単元計画の工夫・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して様々な鉄棒遊びの基本学習を行い、「忍法レベルアップタイム」の中で、グループで技のポイントを見つけ合いながら、個々の技がさらに上達するように取り組ませていきたい。 ・基本学習で習得した技や基本学習につながる技をゲームやリレーとして活用し、友だちと楽しく運動しながら進んで学習できるようにしたい。 <p>② 運動ポイントの活かし方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の中でよい動きを見合いながらポイントを友だちに伝えたり、友だち同士でポイントを見つけ合う活動を行ったりすることでポイントの活用を図りたい。 ・「忍法レベルアップタイム」を通してポイントとなる動きを繰り返し行わせ、技のポイントが「わかる」 ・「できる」を多く体験させていきたい。 <p>③ 運動の特性に即した活動の取り入れ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鉄棒を使った運動遊び」に関わる基本的な動きづくりとして固定遊具施設を使った「ぐんぐん鉄棒忍者修行」を準備運動として毎時間取り入れていきたい。
--

4. 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<p>ご内 と容 のの 評ま 価と 規ま 準り</p>	<p>だれとでも仲良く基本の運動としてのいろいろな運動遊びに進んで取り組もうとする。また、順番やきまりを守って仲良く運動しようとしたり、運動をする場所や器械・器具の安全に気をつけながら運動をしたりしようとする。</p> <p>(出典：国研)</p>	<p>基本の運動としてのいろいろな運動遊びの仕方を知り、活動を工夫している。</p> <p>(出典：国研)</p>	<p>基本の運動としてのいろいろな運動遊びを楽しく行うための体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けている。</p> <p>(出典：国研)</p>
<p>単 元 の 評 価 規 準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・順番やきまりを守って、楽しく運動しようとする。 ・友だちと励まし合い教え合いながら学習しようとする。 ・運動する場所や鉄棒の安全を確かめようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてを持ち、用具や学習カードなどを使って運動をしている。 ・できるようになるために必要なことを、友だちと教え合いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒の握り方や力の使い方など鉄棒遊びの基本的な動きができる。 ・できる技の回数を増やしたり発展技に挑戦したりすることができる。

5. 指導と評価の計画（7時間扱い）

時間	1	2	3	4 (本時)	5	6	7	
5	<p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方 ・学習の約束 (用具の準備・後始末) 	<p>○ぐんぐんでつぼう にんじゃしゅぎょう (タイヤ跳び・雲梯さるわたり・ジャングルジムとんとん逆上がり・のぼり棒でぐるりん) 場2</p>						
15	<ul style="list-style-type: none"> ・きまり ・場づくりの説明 ・準備運動の仕方 (固定遊具の使い方) 	<p>○基になる運動 (場1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふとんほしじゃんけん・つばめとびつきょうそう ・ぶたのまるやきじゃんけん など 						
25		<p>○基本学習 (場1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コウモリ (6) ・とびあがり 		<ul style="list-style-type: none"> ・コウモリ振り (小・大) ・コウモリ手つき下り 		<ul style="list-style-type: none"> ・逆上がり ・膝掛け振り (7) 		
35		<ul style="list-style-type: none"> ・つばめ (2) ・おさるさん 		<ul style="list-style-type: none"> ・前回り下り (4) 		<p>○高める・広げる学習 (場1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続けて前回り下り 		
45		<ul style="list-style-type: none"> ・ふとんほし (3) ・ダンゴムシ (5) 		<ul style="list-style-type: none"> ・前回り下りリレー ・ダンゴムシリレー 		<ul style="list-style-type: none"> ・コウモリ荷物運びリレー ・シンクロ技 など 		

時間	主な学習活動	学習活動における具体的評価規準 A：十分満足と判断できる状況 B：概ね満足できる状況		
		関心・意欲・態度	思考・判断	技 能
1	オリエンテーション ・学習の進め方 ・学習の約束（用具の準備・後始末・きまり） ・準備運動の仕方	・鉄棒遊びの約束を（A：進んで）守ろうとしグループで協力して学習を進めようとする。 [観察]	・鉄棒遊びの学習の進め方や練習のしかたが（A：学習カードをもとに）わかり、見通しを持っている。 [観察]	
2 3 4 5 6 7	○基になる運動 ・つばめとびっこ競争 ・ふとんほしじゃんけん ・豚の丸焼きじゃんけん など ○基本学習 ・とびあがり ・つばめ ・おさるさん ・ふとんほし ・ダンゴムシ ・コウモリ ・足抜き回り ・前回り下り ・コウモリ手つき下り ・コウモリ振り（小・大） ・膝掛け振り ・逆上がり など ○高める・広げる学習 ・前回り下りリレー ・ダンゴムシリレー ・シンクロ技 ・続けて前回り下り ・コウモリ荷物運びリレー など	・いろいろな鉄棒遊びをを（A：自分から進んで何度も）行おうとする。 [観察] ・きまりや約束（A：の意味を理解し）を守り、安全に気をつけながら運動しようとする。 [観察・カード] ・（A：進んで）難しい技に取り組もうとする。 [観察・カード] ・（A：進んで）ゲームやシンクロ技などに取り組もうとする。 [観察・カード]	・動き方がわかり友だちのよい動きからできるようになるポイントを見つけて（A：教え合っ）ている。 [観察・カード・つぶやき] ・ゲームやシンクロ技などのやりかたを（A：うまくいくように）友だちと考えている。 [観察・カード]	・（A：スムーズな動きで）できる技を増やすことができる。 [カード・感想] ・技のポイントを見つけて（A：進んで）楽しく遊ぶことができる。 [観察・カード] ・グループでゲームやシンクロ技をし（A：さらに発展技に挑戦して）楽しく遊ぶことができる。 [観察・カード・つぶやき]

努力を要する状況に対する指導の手だて	・「できた」喜びを味わわせるために励ましや賞賛を多くし、自信を持ってできるようにする。	・友だちの動きのよいところを一緒に見つけながら技のポイントを身に付けられるようにする。	・自信を持ってできるように補助をしたり「自分でやりたい」という気持ちを大切にするために、スモールステップでできたことを認めるようにする。
--------------------	---	---	--

6. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・友だちと「前回り下りのじゅつ」の修業をしながら、楽しく遊ぶことができる。 [技能]

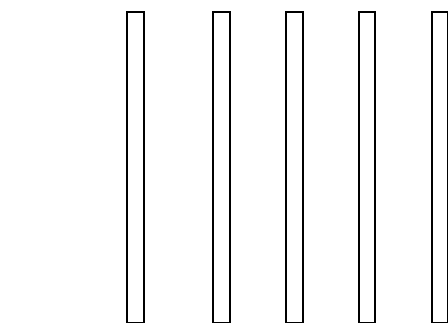
(2) 展開 (4時間目/7時間中)

段階		時間	指導・支援上の留意点 (○) 研究に関わる手だて (◎) 評価規準 (☆) 評価方法 (*)	用具 資料
導入	1 整列・挨拶 2 忍者修行 ・タイヤ跳び ・雲梯でさるわたり ・ジャングルジム こうもり・とんとん逆上がり ・のぼり棒でくるりんぱ	12	○事前に服装の確認や用具の準備をしておく。 ◎学習のはじめに固定施設を使った鉄棒遊びサーキットトレーニングに取り組みさせることで、楽しみながら鉄棒運の基本的な動きを身に付けさせていく。 ○それぞれの施設で多様な動きを経験させることで体の位置感覚や姿勢のコントロール感覚を養わせる。 *観察	
展開	3 学習課題の確認 にんぼう 「前回り下りのじゅつ」の しゅぎょうをしよう	28	○本時の学習や進め方について確認し、意欲を高める。 ○基本学習につながる技をゲームやリレーとして取り入れ、友だちと楽しく運動しながら進んで学習できるようにしたい。 ◎グループで応援したり励まし合ったりしながら協力して取り組めるように声かけをする。 ○並び方や応援・励ましをしているなどの賞賛をし、意欲を継続させていきたい。 *観察	・技の掲示物 ・補助具 ・マーカー ・タイヤを補助用に用意する
	4 基になる運動 ・ぶたの丸焼きじゃんけん ・つばめとびっこ競争 ・ふとんまじじゃんけん など		◎全体の中でよい動きを見合いながらポイントを友だちに伝え、やってみる活動を繰り返し行うことでポイントをつかませていく。 ○安全に気をつけながら友だちと仲良く運動するよう声かけをする。 *観察・発言	・学習カード
	5 基本学習 「忍法レベルアップタイム」 ・前回り下り ・コウモリ ・コウモリ手つき下り ・足抜き回り など		◎基本学習の動きを繰り返し行わせることで、技のポイントが「わかる」・「できる」を多く体験させていきたい。 ○一人一人が力一杯取り組めるよう励ましや賞賛をし、意欲を持続させていく。 ○グループで協力したり応援をしたりすることで楽しみながら技を習得できるようにする。 *観察 ☆友だちと関わり合う中で、楽しく遊ぶことができているか。 *観察・学習カード	
終末	7 学習のまとめ 8 挨拶・後片づけ	5	◎自分の頑張りや友だちのよさ・頑張りについて発表させる。 *発言・学習カード ○最後まで安全に気をつけて後かたづけをするよう声をかける。	

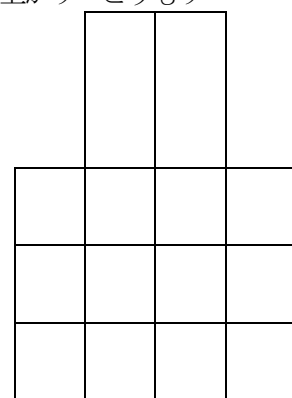
(3) 場の設定

場1 <ぐんぐん鉄棒 忍者修行>

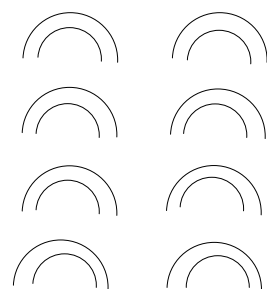
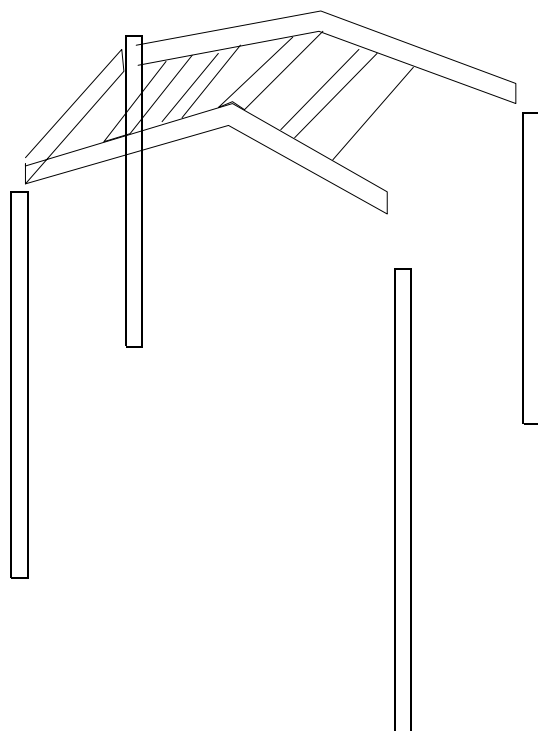
*ジャングルジムで
とんとん逆上がり・こうもり



*のぼりぼうでくるりん



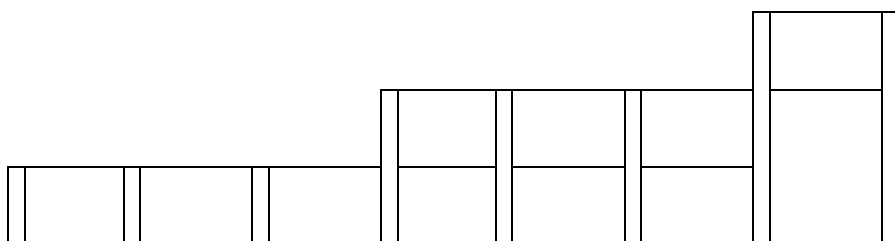
*雲梯でさるわたり

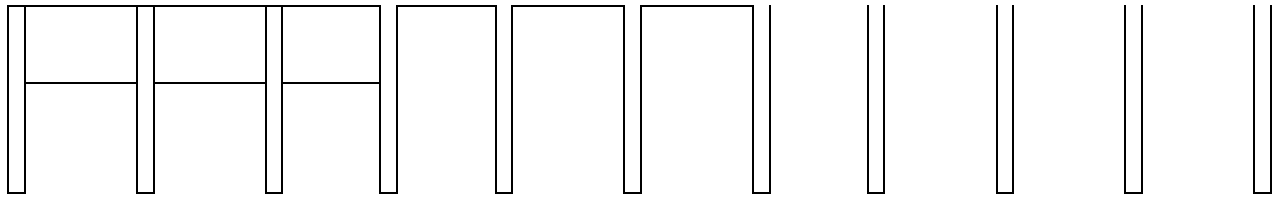


*タイヤ跳び

場2

<技の忍法帳作り・基本の学習・広げる学習>





*技によって高さをグループで変える

△集合場所 (挨拶・ポイント指導)

待機線

